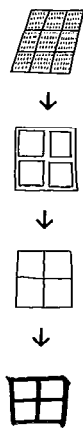


田

一年
 筆順 5
 オン デン
 フン た
 田田

成り立ち



きちんと、しかく、にくかくされた「たんぼ」のかたちをあらわしたもので、「田んぼ」といういみをあらわした字です。

わが国では、「いね(こめ)をつくるところ」のいみにつかひ、「いねいがいのさくもつをつくるところ」は「畑」といいますが、中国には「畑」という字がなく、「さくもつをつくるところ」はすべて「田」といいました。また、「さくもついがいのもの」とれるところ「でも田」といいます。例 塩田、炭田、油田。

使い方

▽むかしの「田植え」は、人が一ぼん一ぼん植えたものですが、いまはきかいで一べんに植えてしまいます。
 ▽二宮尊徳はあれちを「美田」にかえた人ですが、「まず良田をたがやせ」といいました。

熟語例

▽田植え(なわしろでそだてた「いね」のなえを田にうつし植えること。むかしは、八十パーセントの人がおひやくしようでしたから、たいていの人がこのしごとをしました。)

▽美田(「美しい田」といういみのことばですが、いねをそだてる力をもっている田、「肥えた田」のことをいいます。「良田」ともいいます。)

▽田園(「田や畑」のことですが、「いなか」のいみにつかわれます。)

▽水田(「田」のこと。水をひいて田植えをするので「水田」といいます。畑のことを「陸田」ということもあります。)

▽油田(石油をとるところのことです。石油を「いね」になぞらえて、「田」といったものです。)

使い方

▽ながいことあめがふらないので、「土ぼこり」がたちかぜがふくと、「土けむり」になります。

▽この「土地」には、「土蔵」のあるいえがたくさんあります。

熟語例

▽土埃(「ぼこり」は「こまかいちり」。わずかなかぜでもまいあがるこまかい土。)

▽土煙(まいあがった土ぼこりがけむりのようにみえるものことです。)

▽土地(いえのたつ「じめん」や「はたけ」「やま」などのこと。「地方」のいみにもつかわれています。)

▽土蔵(かじでもええないようにあつい土でぬりかためられた「お蔵」のこと。)

▽土足(「どろ足」のことですが、ふつうは「はきものをはいたままの足」のことをいいます。)

▽土俵(「土をつめた俵」のことですが、すもうをとるばしよに土俵をまるくしきつめた「すもうをとるばしよ」)

▽土間(いえのなかで、ゆかがなくて土のままのところのこと。「土の間」といういみのことばです。)

土

一年
 筆順 3
 オン ト・ド
 フン つち

成り立ち



「つち」のなかから、くさがめをだしたすがたをあらわしたもので、「つち」ということをあらわした字です。ひとはこの「つち」のうえにすんでいますので、「ひとのすんでいるところ(郷土)」や「くに(国土)」などのいみにつかわれます。